

令和4年度 山形県立米沢東高等学校 学校評価

○ 校訓・教育精神

修 誠

「修誠」を校訓として、次の陶冶に努めることをもって教育精神とする。
 ◇ 美しい品性 ◇ 高い知性 ◇ 篤い至誠

○ 教育目標

- 1 主体的に学び、未来を創造できる人を育てる。
- 2 至誠と責任を重んじ、社会に貢献できる人を育てる。
- 3 美しい品性を備え、真理と文化を愛する人を育てる。
- 4 高い知性と健康な身体をもち、自立できる人を育てる。

○ 目指す学校像

- 1 「修誠」の精神を継承し、人間性を豊かに育む学校
- 2 自立した学習者として、生徒が主体的に学び、高め合う学校
- 3 進学型単位制の特色を生かし、一人一人の夢を達成できる学校
- 4 高い志と広い視野を持ち、地域に貢献する学校

◎特に成果が見られた取組 ○成果が見られた取組 △さらに取り組む必要がある課題

重点目標	具体的方策	達成状況と今後の課題（自己評価 A：達成/B：概ね達成/C：やや不十分/D：不十分）	評価	学校関係者評価
1 学力の三要素のバランスがとれた学力の育成とそれを支えるリーディングスキルの養成	① 授業改善による「主体的・対話的で深い学び」の実現	○ICTを活用した授業展開・リモート授業に向けた取り組み △観点別の評価方法について更なる研究が必要	B	△授業で失敗することが必要。失敗に感謝し、そこから学ぶことが大切。 ○褒めることを基本にしていくべき。 △基礎学力の向上、長文読解力の向上を！ △学校の学びにプラスして、ネットツールの上手な活用で中央の情報を得るべき。 △図書館利用者を増やしてほしい。「先を読みたい本」との出会いを。 △面白い本から設問が出される→先生方の勉強会を！
	② 授業の工夫と主体的な家庭学習の確保	◎新教育課程実施に伴う進度や授業内容についての活発な議論 △欠点科目保有者への指導		
	③ 知性や人間性を磨くための読書の推進	◎国語科と連携した読書指導及び図書館活用 ○図書委員会を中心とした新聞活用の推進		
2 自ら判断し行動できる生徒の育成	① 自主的・自律的な生活態度と公共心の養成	◎全校集会時の執行部生徒による整列指導 ○自転車乗車マナーの意識向上 △SNS利用に関わるトラブル防止	A	◎トイレがきれいだった。生徒も丁寧に対応してくれた。 ○学校の良さは、生身の人間と関わること。生徒に感じてほしい。 ○1年次の最初に、友人を作ることが大事。 △米沢に、文化部が少ない。部の統廃合で文化部が減れば、入学数への影響が心配。
	② 自他を尊重し、高め合う集団づくり	◎組織的ないじめ防止 ○校内生活状況調査による問題点の把握		
	③ 自治的・創造的な生徒会活動と自発的な部活動の推進	◎「クラスマッチ」「文化祭」におけるコロナ感染防止策を施した円滑な運営 ○感染予防を行いながらの部活動運営		
3 未来を拓く力をつける探究型学習とキャリア教育の推進	① 探究型学習の推進による、思考力・判断力・表現力等の育成	○（1年次）前期までの観点別評価の実施 △思考力・判断力・表現力の更なる育成	B	○ルーブリック活用により、「こういうふうになろう！」と生徒に説明してほしい。 ○地域、郷土の良さを十分に学んでほしい。地域の教育力活用を！ △生徒の個性を伸ばすために、大人が挑戦する姿を見せるべき。 ○高校・大学は通過点、社会で輝くように。
	② 総合的な探究の時間における、課題探究学習(i-Seeプロジェクト)の充実・発展	◎課題探究学習での地域協力者による質の向上 ○職員研修会実施による課題探究活動での実践 △探究活動時間の確保		
	③ 高い志の育成と個性を伸ばすキャリア教育の推進	○各種ガイダンスによる進路意識の高揚 ○保護者向け進路通信による啓蒙 △R7年度入試に向けた情報収集と対応策の検討		
4 健康で安全な学校生活の向上	① 健康・安全に対する正しい理解と自己管理能力の養成	◎自転車乗車マナーの向上、交通安全意識の高揚 ○校内生活における新型コロナウイルス感染予防 △対人コミュニケーション不足によるトラブル、SNS利用に関する問題	A	○色々な経験を積んで、感性を磨いてほしい。 △不応や不登校への対応、教員の負担軽減も大事。 △不登校の生徒が心配。就職の面でも、せめて高校は卒業してほしい。 △防災訓練でいつも同じことではなく、停電や余震の想定も。 △学校前の通りの雪が危険。周囲の除雪をしっかりとし、避難が容易にできるようにすべき。
	② 「いのち」の教育の推進と教育相談の充実	◎カウンセラーによる「悩みごと」相談の活用 ○外部機関との連携による支援		
	③ 学習環境の整備と危機管理・防災体制の充実	◎校内の危険箇所等の迅速な修繕 ○引率なしでの避難訓練の実施		
5 外部との連携及び働き方改革の推進による活力あふれる学校づくり	① 地域貢献・地域づくり活動、校外活動等への積極的参加	◎米沢市「SDGsチャレンジ」の提案実現 ◎豪雨災害ボランティアへの積極的参加	A	◎書道・絵画の校外展示会が見事であった。感動した。 ◎竹あかり、フードライブ活動の紹介を見た。良い取り組みである。 △日頃の活動や改革についてもっと発信することが必要 △県にスクールバスの要望をしてほしい。
	② HP等による情報発信・広報活動の充実とさくら連絡網等による確実な連絡	◎学校ホームページへの積極的な記事掲載 ○さくら連絡網による保護者あて連絡の送付 △ホームページ以外のSNS活用の模索		
	③ 保護者の理解・協力による、教職員の「働き方改革」の推進	◎さくら連絡網による欠席連絡受付 △コロナ禍における修誠会活動のあり方の検討		

総合評価

◎授業に関しては、コロナ禍における授業の効率化、ICT活用、オンライン授業等、実践方法の幅が広がった。
 ○学校行事については、感染防止対策を行いながら、計画通り実施することができた。
 ◎部活動では、県外遠征等はあまり実施できていないが、多くの競技・部活動で東北・全国大会出場を果たした。
 ◎オープンスクールは、昨年度より早期にして2日間の開催としたことで、参加者が大幅に増えた。
 ◎i-Seeプロジェクトにおいて、発表力の向上等成果を上げている。今年度の1年次から新たに4つの講座を設定。探究基礎力向上、地域の魅力発見になっている。
 ○修学旅行は、当初の計画通り、関西方面への3泊4日で実施した。
 ○「魅力化・ビジョン委員会」を設置。「スクール・ポリシー」策定に向け、教員ワークショップや先進校視察を生かし、生徒に身に付けたい力について検討を行った。
 ○スクールカウンセリングを臨時で追加するなどして、生徒指導や家庭生活向上へのアドバイスをいただくことができた。
 ○学校評価アンケートにおいて、生徒・保護者ともに高い評価をいただいた項目が多かった。
 △ボランティアに積極的に参加した生徒がいたが、「社会や地域貢献」に関しては低い評価であった。回数が少ないため、自己評価が低かったものと思われる。
 △学校評価アンケートの自由記述において、教育環境面の不満足に関する記述が複数あり、施設・設備の改善に向けて、県に要望していきたい。

【生徒評価】

「i-Seeプロジェクトの意義を十分理解し、積極的に取組んでいる。」

